

シルバーだより

2022
9月
No.83

発行 公益社団法人 深谷市シルバー人材センター

深谷市上野台2567番地 電話 048(573)3345
<https://www.fukaya-sc.or.jp/>



会員数 1,040 人
男 754 人
女 286 人
令和4年7月31日現在



史跡公園の畠山重忠公之像 作者 堀口泰造

〈シルバー会員 丹羽さん撮影〉

シルバー人材センターは

健康で働く意欲のあるシニアに

↓
地域社会と連携して

↓
知識・経験・技能を活かした「就業の場」を提供し

↓
生活感の充実、福祉の増進を図り

↓
シニアの能力を活かした活力ある
地域社会づくりを目指しています。



重忠まつりの巫女舞

センターの理念 〈自主・自立、共働・共助〉

- ◆自主・自立：自分のものとして、自分たちの力で育てる。
- ◆共働・共助：一緒になって働き、お互いに助け合う。

令和四年度 定時総会開催

令和四年度定時総会が六月二十四日（金）午前十時より藤沢公民館、大会議室にて開催されました。

本年度もコロナ禍により、小限の人数での開催となりました。深谷市長はじめ深谷市議会、公益財団法人いきいき埼玉の来賓のご出席も見合わせていただき、新（あたりし）理事の開会宣言に続いて、小暮理事長の挨拶が行われました。

司会の小林理事より、会員数千四十一名中、出席者十六名、委任状五百三十二名、議決権行使書百四十六名、合計六百九十四名で総会は成立した旨が告げられました。

議長を選任に移り、梁瀬理事が指名され議案の審議に入り、全て原案通り承認可決されました。

会員表彰は割愛し（表彰状及び記念品は郵送）、木川理事の閉会宣言により無事終了いたしました。



報告事項

- （一）令和三年度監査報告
- （二）令和三年度事業報告について
- （三）令和四年度事業計画について
- （四）令和四年度収支予算について

議事

- ・議案第一号
役員報酬等及び費用に関する規程の一部改定（案）について
- ・議案第二号
令和三年度決算の承認について
- ・議案第三号
役員を選任について

理事長挨拶 小暮 孝雄

市民の皆様をはじめ企業・事業主の皆様には、日頃から当センターの事業活動に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

シルバー人材センターは、60歳以上の健康で働く意欲のある方を会員として、自治体や企業、家庭などから臨時的・短期的な仕事を引き受け会員に提供することにより、会員の社会参加を促進することはもとより、生きがいの充実や健康の保持増進、ひいては医療費や介護費用の削減などに貢献しています。

現在当センターでは、生涯現役を目指し入会された千人余りの会員がこれまで培った「知識」「経験」「技能」を活かし、公共施設の受付管理業務をはじめ事業所内での軽作業や植木の剪定、除草作業など多岐にわたる分野で活躍しています。

センターによるシニア就業の特徴は、知識・経験が豊富なことは勿論のこと、総合的な判断ができることや他者への気遣いができること、さらには柔軟な働き方ができることや地域のことをよく知っていることなどが

挙げられます。

皆様におかれましては、こうしたことに加え仕事に対する責任感が強く、短時間の仕事にも対応可能な当センターのシニアパワーを引き続きご活用いただきますようお願いいたします。

なお当センターでは年間を通して会員を募集しています。加入することのメリットは、仕事を通じた収入以外にも仲間との交流や社会貢献など幅広いものとなっております。また就業と健康との関係についても、様々な研究において就業することが健康にプラスの効果を与えていることが確認されており、人生百年時代を迎えた今、センターに加入し働くことで健康寿命を延ばしてみませんか。

皆様のご入会をお待ちしております。



こんな仕事もしています

植木剪定作業

植木剪定作業に携わる私たち植木班は、35名のシルバー会員（令和4年4月現在）がおり、深谷市内の植木剪定の注文を受付けています。それぞれ現場の作業内容に合わせて、ある時は一人作業、また数十日かかる大きな現場では複数人で作業するなど、作業時間・作業場所もその都度変わる職場です。



主なお客様は一般家庭の方ですが、他には公共施設・集合住宅・企業工場などのお客様からの依頼もあります。庭木剪定の依頼は、毎年受注するのがほとんどですが、他にも庭木の伐採整理などの単発受注もあります。

植木剪定作業は季節性が強く、年末の10月から12月に仕事が集中する為、作業が終わらずに翌年の1月、2月にずれ込んでしまうのが実情です。次の繁忙時期は樹木が生い茂る5月、6月で、梅雨明け前の7月中旬までが忙しい時期となります。

私たちの剪定作業は、植木班の作業基準を指針にして作業を進めています。作業に入る際は、作業開始時間・作業終了時間等、一日の日程をあらかじめお客様に伝えてから作業を始めます。

私たちが作業をする上で最も大事なことは、お客様とのコミュニケーションです。

- ① 各対象樹木の樹形希望の確認
- ② 作業足場

の花壇の花など配慮すべき事 ③ 電線、電話線、ハチの巣など注意すべき事 ④ 高所作業は12尺三脚を使った作業範囲（約4m）である事について特に注意を払っています。私たちの仕事は定型的なものではありません。似た現場は有っても、それぞれ現場、現場で違います。早く、そして庭木を見栄え良く仕上げる為に植木剪定の職人としては当たり前ではありますが、お客様と対話する事で違いを把握し、お客様に納得していただける仕事を心掛けています。（会員 新 正寛）



◆ 深谷市シルバー人材センター・会員構成

（単位：人）令和4年3月末現在

区分	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計
男	22	163	312	176	56	8	737
女	16	69	109	53	16	3	266
合計	38	232	421	229	72	11	1,003
平均年齢区分		男性	女性	全体	最高齢	男性	女性
平均年齢		72.7歳	71.9歳	72.5歳		87歳	87歳



スキーへのいざない 自銀をすべる

平成12年2月20日、午前9時を少し過ぎた頃、私の名前が呼ばれました。ここは、岐阜県にある鷲ヶ岳スキー場のホテルの会議室です。スキー指導員資格試験に合格した瞬間です。19才で初めてスキーを体験してから25年の時が過ぎていました。



27才の時2級を取得した私は、もうこれで級別テストは一段落してスキークラブで楽しく滑っていたらいいと思っていました。38才の時、自分自身のスキー技術の向上はもちろんですが指導者としての指導方法を学び指導力を高めたいと思い指導員資格試験に挑戦することを決意しました。

しかし、それからが大変でした。まず、級別テスト1級、準指導員資格を取得、

そして、冒頭のスキー指導員になんとか合格できた時は44才になっていました。その間、挫折と挑戦を繰り返しながらスキーの奥深さを知りました。練習を繰り返し、それまで出来なかった滑りが出来るようになる。そこに成長したという達成感と喜びが湧いてきます。それは、子供たちが何度も何度も練習し、出来なかった滑りが出来るようになった時にとっても嬉しそうにする姿と全く同じです。

昭和61年からコロナ禍になる平成31年までの34年間、子供達のスキー指導をしてまいりました。子供たちの上達の



スピードは、とても早く一日でリフトに乗れるようになります。そんな子供たちの成長を見るのもとても嬉しいです。そこに参加した子供たちは延べ数千人に達します。その中の数人が私たちのスキークラブに入部してきた時の感動は今も忘れられません。

なんやかんやで私は現在65才ですが、この46年間にスキー板は革新的に進化し、昔よりはるかに上手に楽にターンができるようになってきました。新雪が降り積もり誰も滑った跡のない真っ白なゲレンデを最初に滑る時の高揚感、滑っている時の爽快感、滑り終わった時の満足感、何度経験しても最高の気分です。昔のスキー場は混雑を極めていましたが、昨今のスキー場とさえは大変空いております。過去にスキー経験のある皆様は何年たっても滑ることが出来ます。スキーは、生涯スポーツです。もう一度スキーにチャレンジし白銀を滑ってみませんか？ご用命があればお手伝いできます。

(会員 高野 正沖)



©2022Ayano

いきいき広場

三年ぶりの県展開催で入選

コロナ禍で開催できなかった埼玉県美術展が、今年6月1日より23日までの間で3年ぶりに開催されました。私は趣味で油絵を描いていて、近年は毎年県展（埼玉県美術展）に出品してきました。6部門ある中で私のエントリーしている洋画部門が一番出品数が多く今回は1146点でした。

その中から、審査で526点が入選入賞に選ばれたわけですが、45%の入選率は他の部門と比べても最も低くなっています。県展は会員になっても落選することがある大変厳しい美術展です。言い換えれば県展で入選することは大変名誉なことなのです。

今回の作品は題名が「春祭り2020Ⅱ」、これは秩父小鹿野町に伝わる春祭り（4月第3金、土曜日）の屋台や笠鉦を先導する少女をテーマとしました。もう何年も同じテーマで描いています。中学一年生の大人になる手前の少女が金棒をもつて祭りを先導します。とても可愛く、しかも成人の雰囲気を感じさせ、ハットさせる瞬間を描きました。さりげない仕草

『人間貴晩晴（にんげんばんせいをたつとぶ）』（渋沢栄一翁 座右の銘）



絵画：春祭り2020Ⅱ

をとらえた横顔が気に入っています。退職後でも趣味の油絵やシルバーの仕事、市民大学、自治会活動等で、社会とのかかわりを持つことの大切さを痛感しています。ボケないことの最善の方法でもあり、今が一番充実しています。老後の趣味としては容易でなくても、目標を高く掲げ、県展入賞（1.6%）を目指してこれからも生涯学習として精進するつもりです。（会員 土屋次郎）

あなたも入会しませんか!

ご案内図



会員入会説明会

毎月第2・第4木曜日 午前10時より
開催日が祝祭日の場合は前営業日に開催します。

■深谷市シルバー人材センター

「わんぱくランド」2階会場にて開催します
*事前予約はありません。直接お越しください。
〒366-0801

深谷市上野台 2567 番地

電話 048-573-3345

- 深谷市在住で、原則 60 歳以上の健康で働く意欲のある方
- センターの趣旨を理解し、賛同する方
- 入会説明会を受け、6ヶ月以内に申込み方
- 会費を納入していただける方

